

2025 年 10 月 30 日
西日本旅客鉄道株式会社

山陽本線（山口エリア）への新しい車両の導入について

JR 西日本グループでは「JR 西日本グループ中期経営計画 2025」に掲げる、鉄道事業の活性化を支える生産性向上と持続可能なシステム構築を実現する取り組みを進めています。このたび、さらなる安全性・快適性・利便性の向上ならびに省エネ化等持続可能な鉄道運行の実現のため、山口エリアに 45 年振りとなる新しい車両を導入いたします。

1. 導入する新しい車両

岡山エリア等で運転中の 227 系近郊形直流電車をベースとした新しい車両

2. 導入時期、線区

2026 年度以降、山陽線へ順次導入予定 ※既存車両と順次入れ替えて導入します。

3. 車両デザイン



デザイン監修：(株)GK デザイン総研広島

4. デザインコンセプト

「維新の陽光」 (いしんのようこう)



「維新の陽光」とは、ドラスティックに物事が変わる山口の夜明け前の DNA：維新のイメージを夜明け前の漆黒と差し込む光の金色で表現しています。黒×金色のシンボルカラーにより、沿線の幻想的な光（秋芳洞/錦帯橋のライトアップ/周南の夜景）、SL やまぐち号にも通じる重厚な品格を表現しています。

5. 車両愛称名

「Kizashi」 (きざし)

古語において「山口」という言葉は、「物事の始まり」や「前兆」を意味しました。新しい車両の導入が、山口エリアに新たな変革をもたらしていくように、また人々の暮らしや旅に良いことが起こっていくように、その「きざし」となる思いを込めて、新しい車両の愛称を「Kizashi (きざし)」としました。

6. シンボル・ロゴイメージ

新しく物事が起ころうとする「維新」のイメージをエネルギー的な閃光と重ね合わせて表現しています。



7. 新しい車両の主な特徴

(1) 安全性

安全装置・設備の導入により、安全性を高めます。

- ・衝撃吸収構造※
- ・車両異常挙動検知装置
- ・先頭車間転落防止ホロ※
- ・戸挟み検知装置※
- ・EB-N 装置（運転士異常時列車停止装置）※
- ・とっさの際に握まりやすい形状・オレンジ色調の吊手、手すり
- ・防犯カメラ

※は今回の新しい車両導入で山口エリア初となる内容です

(2) 快適性

全てのお客様に快適にご利用いただけるような車内空間を提供します。

- ・バリアフリースイレ
- ・車椅子やベビーカーをご利用のお客様のスペース
- ・LED 照明
- ・自動温度調節による空調
- ・自動換気機能

(3) 利便性

よりスムーズに乗り降りいただけます。

- ・出入り口付近のスペース拡大
- ・車内ドア上部の情報表示装置による 2 か国語での行き先案内



8. 車両数

2両3編成と3両6編成の計24両

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、9番、13番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

